



阪急阪神不動産

\ 整理収納のプロがレクチャー! /

暮らしに余白を生む 収納メソッド YOHAKU time



〈ジオ〉の収納をもっと活用できる
「収納メソッド」を徹底レクチャー!

プロ直伝! 目からウロコの「収納メソッド」をご紹介 ▶

暮らしに余白を生むためには、「収納」はとても重要です。

〈ジオ〉の収納を、もっと効果的に活用していただくために。
家事負担を軽減してゆとりのある時間を生み出す、
一歩先ゆく「収納メソッド」をご契約者専用サイトから一部を抜粋してご紹介します。



まずはここから！「整理収納の考え方」～3STEPS～

STEP
1

整理

不要なモノを取り除く

収納の中にあるけど、長い間使っていないモノ、実はたくさんありませんか？ **まずは、それらを整理することから始めましょう。**以下の3つに当てはまらないモノは、リサイクルに出すか処分することで、収納スペースにさらなるゆとりが生まれます。

●使うモノ ●使わないけど保管しておきたいモノ ●手放すかどうか悩むモノ

手放すかどうか悩んだらとりあえず一旦保管して半年後にもう一度考えよう！

STEP
2

収納

モノを使いやすく配置

「整理する」ことにより収納スペースにゆとりが生まれたら、**次はモノを使いやすく収めていきましょう。**たとえば、リビング・ダイニングの掃除道具はすぐ近くの物入に。そんなふうに、使う場所の近くにモノを配置することで、使うときだけでなく、片付けるときも格段にラクになります。

STEP
3

整頓

使ったモノを元に戻す

モノがあふれていると、「整頓する」のはなかなか面倒な作業です。しかし、基本メソッド①・②の「整理する」と「収納する」ができていれば、**簡単に使ったモノを元に戻せるように。**すっきりとキレイに片付けられた住空間を長続きさせることができます。

生活雑貨店などでよく販売されている収納グッズを上手に活用しよう！



キッチン

使う位置に合わせて、**3つのゾーン+上部吊戸棚**に区切ると、驚くほど使いやすく。

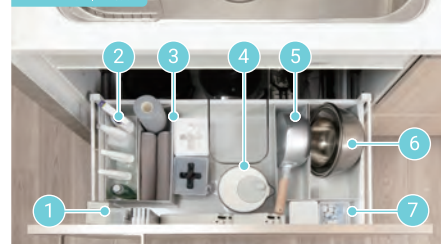
「ゴールデンゾーン」を意識すると効率性アップ！

システムキッチンの収納を上手に活用するコツは、「シンク下」「作業台下」「コンロ下」という**3つのゾーン**に区切り、各ゾーンで使用するモノを同一ゾーンの収納に収めること。また、キッチンにおける「ゴールデンゾーン」(もっとも手の届きやすい範囲)は、平均的な身長の人で目～腰、すなわちキッチンカウンター付近の高さ。このことを意識し、使用頻度が高いモノは吊戸棚なら下段、シンク下キャビネットなら上段に収納すると使いやすくなります。



ご契約者
専用サイト
紹介例

シンク下 | 上段



収納内でもゾーニングを意識しよう。

上段はゴールデンゾーンの1つとなるので、ボウルやざる等**シンクまわりでよく使うモノ**を収納しましょう。**始めに水を注いでからコンロにかける片手鍋は、右利きの場合は右側に配置する等**、1つの収納内でもゾーニングを意識すると、作業効率がさらに高まります。また、モノを上下に重ねるのではなく、**ファイルボックス等を用いて「立てて収納」**することもポイント。水切りネットや手袋のストックは、100円ショップ等で手に入る収納グッズを使えば上手に収納できます。

〈収納例〉シンク回りでよく使うもの

- | | |
|--------------------|----------|
| ① ラップ等 | ③ 片手鍋 |
| ② シンク・カウンター等の洗剤類 | ④ ボウル・ザル |
| ⑤ 水切りネット & 手袋のストック | ⑥ 食洗機の洗剤 |
| ⑦ サラダスピナー | |

パントリー

軽いモノは上、重いモノは下に収納し、ケースでグルーピング。

パントリーを上手に活用するコツは、**軽いモノを上、重いモノを下に収納すること**。「ゴールデンゾーン」(もっとも手の届きやすい範囲)を意識し、**使用頻度の高いモノは手の届きやすい場所に収納しましょう**。また、直置きせず**に収納グッズを使ってグルーピングし、必要なときにサッと取り出せるようにしておく**と管理しやすくて便利。



POINT!

半透明のグッズを使用すると外から見ても入っているものがわかりやすい!



ファイルボックス(無印良品)

よく使う食材はグルーピング収納で管理。

種類ごとに透明な収納グッズに入れることで、選びやすいだけでなく在庫管理がしやすくなります。また、少し重い缶詰や粉類もここに。

ご契約者専用サイト紹介例

洗面化粧台

洗面化粧台は、使う人別にゾーニングし、ラベリングで定位置管理。

三面鏡裏収納は、**使用する人別に縦にゾーニング**することで使いやすくなります。また、**各ゾーン内では使用頻度別にグルーピング**しましょう。一番上は手が届きにくいのでストック等使用頻度が低いモノを。目～腰の位置にある**ゴールデンゾーン**には使用頻度の高いモノを。



ご契約者専用サイト紹介例

1 S字フックを利用して、美容グッズを吊り下げ。折りたたみ式のコンパクトドライヤーなら、右のように吊り下げられます。

2 思わずためこみがちな試供品は、しまい込まずに普段から消費するのがよいでしょう。

3 コンタクトレンズのストックケースは、右目用と左目用で2つ用意すると身支度もスムーズに。

4 落下防止金具を利用して、ティッシュケース置場として。

スタッカーやフックを上手に活用すると、使いやすく整理ができるのね!



リネン庫

ケースを上手に使って家族それぞれの専用スペースをつくろう。



リネン庫も**ゴールデンゾーン**を意識することが大切です。また、**部屋着・下着類は家族それぞれの専用スペースをつくって整理**すると、お風呂上がりにサッと着替えやすく、洗濯物を片付ける際もラクになります。



ソフトNインボックス・Nインボックスハーフ(ニトリ)

部屋着・下着類を家族ごとに分けて収納。子どもの分を手が届きやすい下段に収納すると、自分で取り出し・片付けもしやすく、整理整頓の習慣づけにも役立ちます。

棚ごとに、家族それぞれの部屋着・下着類を。

ご契約者専用サイト紹介例

ユーティリティースペース

高さだけでなく、奥行きも意識すると、収納効率がさらにアップ。



ユーティリティースペースには、基本的にリビング・ダイニングで使用するモノを収納しましょう。棚板が前後に分かれているので収納するモノに合わせて**可動式棚板の高さ・奥行きを調節**することで、効率的に収納することができます。



「転倒防止バー」を利用して背の高い掃除機等を。

掃除機やフロアワイパーを手前に置く場合は「転倒防止バー」が便利。

ご契約者専用サイト紹介例

WIC・クロゼット

WIC・クロゼットは、可動バーや追加アイテムを駆使し、自分らしくカスタマイズ。

持っている洋服やバッグ、小物類の種類や量は人によって様々。持っているモノに合わせてカスタマイズすることが重要です。布団ケースやキャスター付収納グッズ等を使うことで、収納量がアップしてさらに使いやすくなります。

ご契約者
専用サイト
紹介例

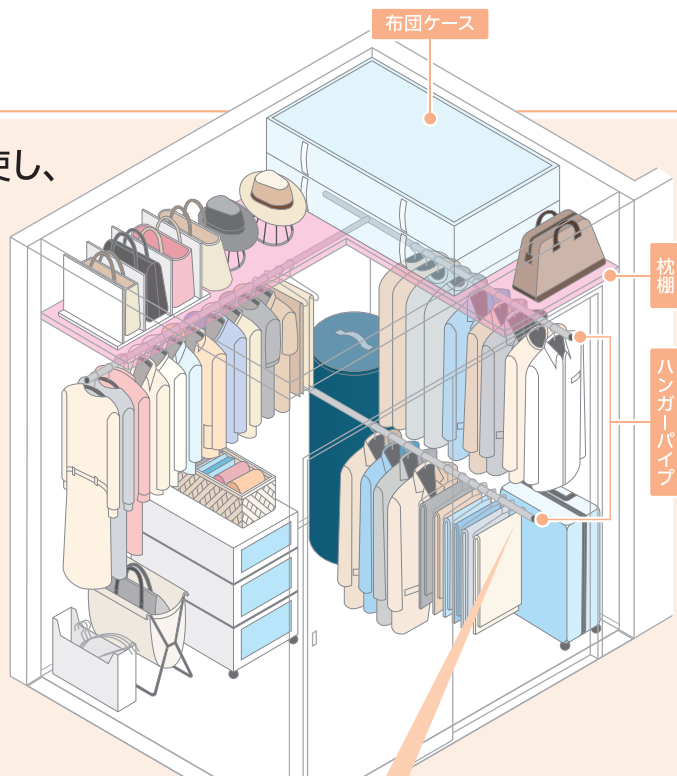
かさばる布団類は、専用ケースで「縦置き」にしてスッキリと。

かさばる布団類は専用ケースを利用して縦置きしましょう。ネームラベル(タグ)を付けておけば、わざわざ開けずに中身を確認しやすい便利です。

いろんなタイプの布団ケースが売っているので合うモノを選んでね！



竹炭収納袋 敷き布団収納 円筒形 (リコメン堂)



下段のハンガーパイプは、ロックプレートを外すことで簡単に取り外し可能。



納戸

納戸は、スチールラックの活用で、さらに収納力が高まる。

納戸の収納術でいちばん重要なのは、スチールラック等を設置して上部までムダなく空間を活用すること。また、出し入れする動作を考慮して、手前に人が立ち入れるスペースを残しておくこともポイントです。



2



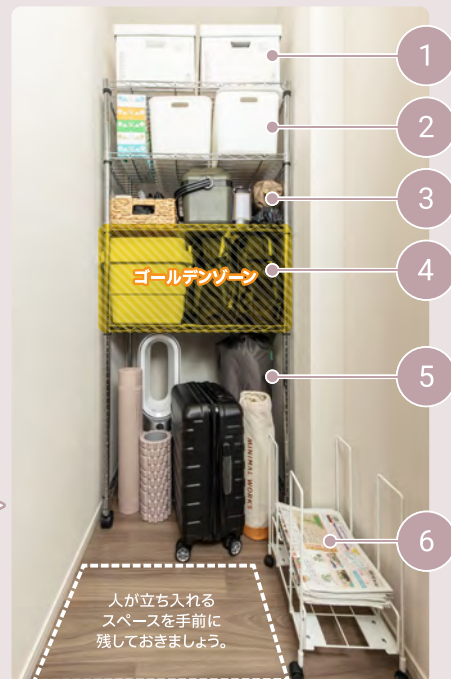
やわらかポリエチレンケース(無印良品)



プール・水遊び用品やテーマパーク用のアイテムを。

上段には、プール・水遊び用品やテーマパーク用品などを収納グッズごとに分けて収納しましょう。

ご契約者
専用サイト
紹介例



人が立ち入れるスペースを手前に残しておきましょう。

ここで紹介したのは、ほんの一部！



さらに詳しくはご契約者専用サイトで公開中！

サイトをご覧いただくには阪急阪神オーナーズクラブ(HOC)サイトへログインする必要があります。



※物件によって各収納の採用状況や形状・仕様等は異なります。